

第三者評価受審終了証

法人名 社会福祉法人 仁栄会

施設名 春叢園

貴施設は社会福祉法人徳島県社会福祉協議会「評価機関評価実施手法に関する規程」及び「評価機関事業内容等に関する規程」に基づく評価事業が終了したことを証します。
つきましては、貴施設の独自の取り組みについて、次のとおり総評します。

＜評価結果総評＞

施設では、法人が掲げる理念にもとづく基本方針のなかで、利用者の障がいの程度にかかわらず、自立した生活や社会活動への積極的な参加に向けて、支援に取り組むことを明示している。年間事業計画に、日中活動支援の方針や活動内容等について記載するとともに、文化・芸術・スポーツなど、園外実習の機会を充実し、社会参加を推進することを示している。日ごろから、日中活動支援の一環として、地域の絵画教室やスポーツ大会等への参加を支援するなど、地域資源を効果的に活用し、利用者の地域交流・社会参加を支援している。毎年、“阿波白鷺わいわい芸術・スポーツ祭”を開催し、近隣の企業や施設、地域住民等の参加・協力を得つつ、利用者のアート作品を展示したり、コンサートを実施したりして、地域交流と自己実現の機会を設けている。新型コロナウイルス感染症の流行下であった為、作品やライブの様子を撮影しホームページにてオンライン配信を行い、地域との交流を継続することができるよう工夫している。また、就労希望の利用者には、心身状況や能力、希望等に応じて、園外実習として地域で就労できるよう支援するなど、自律・自立に向けた取り組みも実施している。地域における諸活動への参加を推進し、利用者の生きがいに繋げる日中活動（支援）の取り組みは、評価できる。

施設では、利用者の安心・安全の確保に向けた仕組みの構築に取り組んでいる。年間事業計画に、健康管理や疾病予防、防災関係の指針について明示するとともに、支援係事務分掌表において、各会議や委員会、責任者を明確化するなど、体制を整備している。施設では、リスクマネジメントに関する委員会の設置や規定の作成などを行い、施設内の安全確保に取り組んでいる。日ごろの支援のなかで収集した、ヒヤリハット事例や事故報告書などをもとに、委員会で改善策を検討し、職員へ周知・理解を図っている。また、定期的に、権利擁護等に関する研修会を開催し、職員間の権利擁護意識の醸成に努めている。新型コロナウイルス感染症の流行等に伴い、感染症予防対策マニュアルや新型コロナウイルス感染症マニュアルなどを整備しつつ、医療関係の専門職と連携を図り、マニュアルを見直したり、研修を実施したりして、感染症に対する意識の向上に取り組んでいる。また、災害対策として、防災計画や防災マニュアル、水防計画、事業継続計画等を整備し、災害時の対応体制を整備している。毎月、消防署等の協力を得つつ、避難訓練を実施し、災害時における避難経路の確認や消火活動訓練等に取り組んでいる。また、近隣の複数の社会福祉法人と災害時の協力体制を整備している。利用者を種々のリスクから守るため、安心・安全を確保する体制の整備と仕組みの構築に向けた取り組みは、評価できる。

令和5年7月3日

＜評価機関＞

認証番号 第1号
社会福祉法人

徳島県社会福祉協議会
会長 吉岡 宏美

